

# 北総線値下げ補助金廃案

白井市議会 市長、専決処分を含み

北総鉄道への補助金を巡り、支出賛成派と反対派が対立していた白井市議会は29日未明、調整がつかないまま閉会し、運賃値下げの原資となる補助金約23360万円を計上した一般会計

補正予算案は廃案になった。

補助金支出の提案は3回目、賛成派と反対派の駆け引きで、予算案について誰が議長を務めるか調整がつかないまま、継続審査の

決定もされず、会期期限の29日午前0時を迎えた。

横山久雅子市長は閉会后、「議会の理解を得て予算化したいという考えは変わらない」と臨時議会などで引き続き理解を求める姿勢をみせる一方、「私に何ができるか、何をすべきか考えていきたい」と専決処分についても含みを残した。

総務省行政課は専決処分について「調整が不調のため、議会の責任で議決が得られない場合、専決処分を適用する要件になりうると考えるが、処分を執行するかどうかは慎重さが求められる」としている。

反対派の市議10人は29日朝、臨時議会招集を請求した。